

東京ではまだ色づいた木々はごく一部ですが スウェーデン北部ではもうすっかり晩秋で 初雪のたよりも届いています モスコセルの民家は どれも別荘地のキャビンのように美しいですが 私は特にこの家が気に入っています スウェーデンで一般的なベンガラ色の壁ではなく おしゃれなテラスもついています どんな方が住んでいるのか 次回はお邪魔してみたいです



下絵線描です



これが完成した絵です



1、まずは全体的に薄く色を置きます 空は完全に画用紙の色のまま 何も塗っていません



4、民家の手前の壁 庇の下に影をつけます これも濃くなりすぎないように注意しましょう



2、少しずつ「秋色」を濃くしていきます 霧の風景は 遠景ほど薄く「彩度」も落とします 塗り過ぎないことが大切です



5、主題の民家は 塗り過ぎないながらも 実在感のある色のつけ方が大切です テラスの柵は 非常に重要で



3、手前の白樺の影や 民家の窓に 濃い色を置いていきます



6、遠くの森は ほとんど消え入るような再度で描きます 濃くなりすぎたら 少し水を塗って 布で押さえて 色を抜きます